

令和6年度大豆生育定期調査結果 No.1 (北上市 7月5日現在 出芽・生育)

岩手県農業研究センター 生産基盤研究部 水田利用研究室 (TEL:0197-68-4412、FAX:0197-71-1081)

1 生育概況 (表1、図1)

(1) 出芽

播種後、まとまった降雨がなかったことから、播種から出芽期までの日数(出芽日数)は、6月6日播種の両品種とも昨年より2日遅く、平年並であった。なお、6月20日播種のリュウホウは出芽日数8日間であった。

(2) 生育

生育は平年よりもやや緩慢で、主茎長はリュウホウ(6/6播種)で平年並(±0cm)、シュウリュウ(6/6播種)でやや小さく(-1.2cm)なった。主茎節数は両品種ともに平年差-0.9節、地上部乾物重は平年比79~82%で、平年をやや下回っている。生育初期の干ばつ傾向が生育に影響したものと考えられる。

表1 7月5日現在の生育調査結果

品種	年次	出芽 日数	草丈	主茎 長	主茎 節数	地上部 乾物重
		(日)	(cm)	(cm)	(節)	(g/m ²)
リュウホウ (6/6播種)	R 6 年	9	21.7	10.9	4.8	9.1
	平年	9	22.9	10.9	5.7	11.1
	平年差・比	±0	-1.2	±0	-0.9	82%
	(参考) R 5 年	7	28.8	13.7	6.4	18.0
シュウリュウ (6/6播種)	R 6 年	9	22.9	10.5	4.7	11.0
	平年	9	25.9	11.7	5.6	13.9
	平年差・比	±0	-3.0	-1.2	-0.9	79%
	(参考) R 5 年	7	31.0	14.1	6.1	21.6
(参考)	R 6 年	8	-	-	-	-
リュウホウ (6/20播種)	平年	-	-	-	-	-
	平年差・比	-	-	-	-	-

※1:「平年」は令和元~5年の平均値。

※2:6月20日播種リュウホウは単年度のデータにつき参考値。



図1 各品種の生育状況 (7月6日撮影)

左:リュウホウ、右:シュウリュウ

2 気象経過（6月～7月第1半旬；図2）

気温は、6月第1半旬は平年より低くかったが、以後は高く経過した。

日照時間は、6月第1半旬を除いて、平年並～高く経過した。

降水量は、6月各半旬とも平年を下回り、7月第1半旬は平年を上回った。

※この「平年」は、過去5か年平均（令和元～5年）を示す。

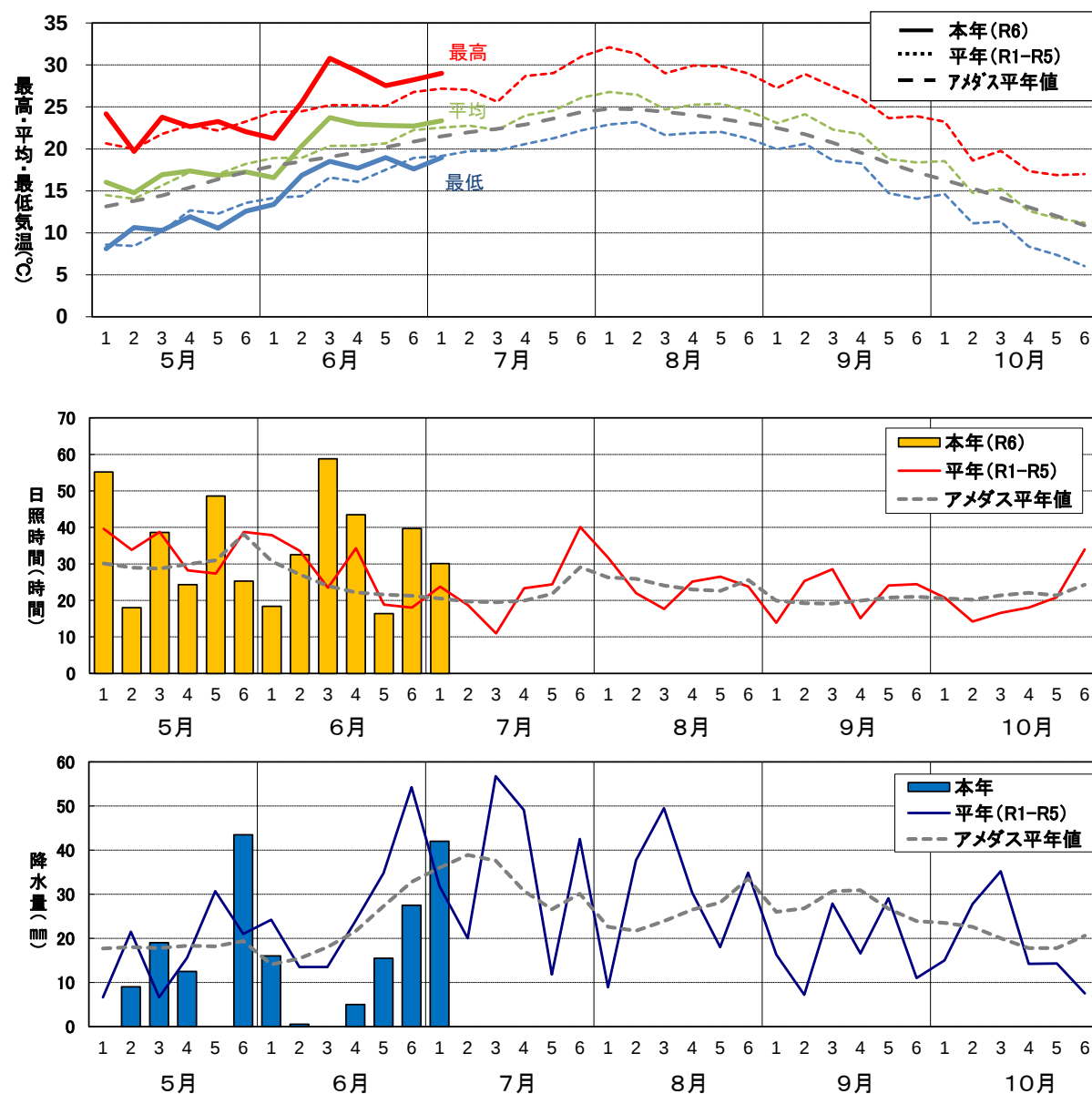


図2 気象経過図（アメダス北上、7月6日現在）

※1：「平年」は令和元～5年の5か年の平均値。

※2：「アメダス平年値」は気象庁公表の平成3年～令和2年の30か年平均。

3 耕種概要

- (1) 調査場所 農業研究センター：北上市成田 標高90m 淡色多湿黒ボク土（水田転換2年目）
- (2) 播種日：6月6日（リュウホウおよびシュウリュウ）、6月20日（リュウホウのみ）
- (3) 栽植密度 6月6日播種：9.5株/m²（畦間70cm、株間15cm、1株1本仕立て）
6月20日播種：14.3株/m²（畦間70cm、株間10cm、1株1本仕立て）
- (4) 施肥量（kg/10a）：N 4、P₂O₅ 12、K₂O 10、牛糞堆肥1t/10a
- (5) 雑草防除：エコトップP乳剤 600mL/10a（播種後出芽前）
- (6) 中耕・培土：7月2日（6月6日播種）
- (7) 病虫害防除：クルーザーMAXX 8mL/乾燥種子1kg（播種前塗沫処理）